

て皆さんの「好きな事」「やってみたい事」「楽しんで皆さんの「好きな事」を集め、どんどん実践しています。

以前、風船バレーを行った際は、椅子に座って円になる事は決めていましたが、やっていく内に「危ないから立たないように」「連続で触るのは良い事にしよう」と利用者さん自身が意見を出し合い、皆でルールを考える事で自然と主体性が生まれてきました。卓上ホッケーでは、初めてされる方が多く最初は消極的な様子でしたが、職員が行う姿を見て取り組み始めると夢中になる方が多く、とても白熱した試合となりました。終わってからも「もう一回やろう」「すごく楽しかった」と、うれしい言葉がたくさん聞かれました。

余暇活動を充実させることで、仲間と一緒に活動する事の楽しさを味わえ、好きな事を見つけるきっかけになるのではないかと思います。

これからも、安心して通える環境作りを行いながら、楽しく、笑顔が生まれるような活動を提供していきたいと考えています。

(所在地)

広島市安芸区上瀬野

います。学齡児は特別支援学校や地域の小中



瀬野川学園
山手
京子



しの

残るように日々過ぎていけたらと思います。

(所在地)

広島市安芸区上瀬野

居を共にし、農耕・軽作業・洗濯・清掃など



安芸柏の実苑
沖川
真美



過い日

強夏前まご真を

てれ才頭あで事

ア いねのわちいで

知的障害者居住施設
瀬野柏の実苑

(所在地)
広島市安芸区上瀬野
南一丁目338-3
TEL (082) 894-8958

知的な発達に障害のある方の生活居住施設です。現在38才から91才までの男女39名が起居を共にし、農耕・軽作業・洗濯・清掃などの活動をしています。また、年齢を考慮した体力維持の活動にも努めています。



新たな気持ちで

瀬野 柏の実苑
鎌田 友香



産休・育休を取らせていただき、この四月から約一年半ぶりに復帰をしました。「なんだか新鮮だなあ」と感じる一方で、学園では、子ども達の顔つきがお兄さんらしくなって、身長も伸びびていて驚き、安芸柏の実苑・瀬野柏の実苑では、変わらない表情やいつもの会話のやり取りをし、どこか安心をしました。

休職期間中、就職するにあたって自分が書いていた作文を見る機会がありました。そこには、「周りの人にとって、声を掛けたり合図をしたりしたくなるような『ひと』になりたい」「可能性を豊かにする支援を行なうことで、生活の幅が広がるよう心掛けたい」「個々が尊重し合い、一人ひとりに合った充実した日常生活が送れるようにしたい」と書いていました。これは十数年も前に書いていた決意ですが、今でもどれも必要なことで、私は出来ているのか、出来ていたのだろうかと思ひ直します。

「美味しい」「楽しい」「嬉しい」「嫌だ」等、日々の生活の中の何でもない会話も大切にし、こちらも意思を表しやすいよう分かりやすく情報を提供していきます。今までの経験も踏まえつつ、新しい気持ちでこれからも精進していきます。皆さんも、もちろん私自身も、笑顔が絶えないよう、毎日楽しく活き活きした生活を送りたいと思っています。

障害者生活支援事業
安芸柏の実苑通所部

(所在地)
東広島市志和町大字志和
堀字下十日市山337
TEL (0824) 33-5690

知的な発達に障害があり、主にグループホームなどで地域生活をしている20名に、日中活動の場を提供しています。「志和福祉ランド」（東広島市）において、農耕・軽作業・洗濯などの活動を通して、社会参加や自己実現をめざしています。



生城山（おうぎやま）

安芸柏の実苑通所部
地土井
克水



志和で生まれし、若人が今まさに高齢者の仲間入りをし、毎日孤軍奮闘する志和の職員。利用者を交えながらの話の中に志和での懐かしい小・中学校での出来事など話題には事欠かない。中学校・高校と進み、就職先は個々の道を歩み、今まさに人生の年輪を感じる顔がそこにある。机を並べて仕事に専念する姿、それが今の安芸柏の実苑通所部。地域との共生社会の実現。地域との交流を目指し歩みつづける。利用者と作業しながら汗を流し、暑い日も寒い日も誰いうことなく、「おいしいものが食べたい、旅行に行きたい、コーヒーが飲みたい、花の弁当今日は味噌汁がついている」など、同じことの繰り返し。でも変わらぬ毎日に幸福がある。自然の豊かさ、自然の中に小さな発見。尽きない興味。四季を通じ大地に感謝し、大地に恵みを求め、毎日汗する利用者。収穫には利用者の笑顔が一段と綺麗。夏には暑さに負けないで育ったスイカ、大きな声で「エイ、エイ」との勇ましい掛け声でのスイカ割り。口元にはスイカの種。秋には収穫した季節野菜・さつま芋・椎茸・自然薯と土の中から掘り出した根菜類を見ながら、食べる喜びを夢見る収穫祭、楽しみながらほおぼる。笑顔がいい。このように自然と大地、地域と利用者が一体となつて過ごすことが出来る空間があるのが「志和の里」。瀬野キャンパスの職員と共に歩み、励ましあいながら利用者・グループホームの皆さんと共に手を取り合い、明日を夢見る今日。グループホームの最高齢者は八十九歳、毎日洗濯場で仕事をされる姿。いつまでも見ていたい、元気で過ごし、元気に通い「おはようございます」の言葉の毎日に感謝し、地域の皆さんと笑顔で挨拶しながら、お互いを労わる声掛けを続けていきたい。

地域支援事業

Aさんのクッキング

「○○さんが来ちやつたよ。」

お母さんの声でAさんは朝の出かける支度を始めます。いつもの順番で、髪はお母さんがといて結んで虹色の輪ゴムで飾ります。迎えに来た生活介護事業所の送迎者を待たせることはありません。「トイレに入ったらまま水をいっぱい流すのを止めないから待ってください」、「いつまでも待つのは難しいです」といったやり取りは過去の出来事になりました。

Aさんは興味のあるものに集中すると瞬時に行動に移します。車の中からそれを見つけることもあります。床の小さな紙片もAさんにとっては捨ておくことができないものです。集めた物はリビングの決められた場所に積まれています。

そんなAさんはお母さんが体調を崩されてから家事援助のサービスを利用することになりました。ヘルパーさんと仲良しになって洗濯ばさみで洗濯物を干すのにも慣れてきた頃、お母さんからご希望がありました。

「簡単な調理をさせて欲しいんで以前はできていたから。」

新しく調理道具を揃えて準備万端の両親とは反対に、そうは言われても指を切りはしないか、果たして調

相談支援専門員 新谷 慶子

理になるだろうか、混沌とした思いが巡っていました。

それから五か月。家事援助のサービスは週二回のペースでした。

Aさんはテーブルの上の食べた後の容器や割りばしをばっさばっさとコンコンときゅうりやトマトを切ります。包丁の刃の向きが反対になつて置いてあるのに気がつくときつと直します。○○をしてね、と言われると台所の中を移動して作業します。いつも買ってきた同じ総菜しか食べないとい聞いていましたが、一緒に作つた冷麺やみそ汁、かぼちゃのコロツケ等、きれいにしたテーブルで食します。

そうした姿に驚いた私は、もしかするとAさんは心の中で、『案外面白かったな、何だか良い感じ、満足だわ』と思ってないかなと想像するのです。冒頭の生活介護事業所への通所も然りです。やってみて楽しいことがしたいことに繋がっているのかもしれない。

Aさんのクッキングのメニューは、回数を追うごとに増えていると聞きます。

たなばた会

七月七日の七夕の日、柏学園では、
たなばた会を行いました。

数日前から、玄関横に笹の枝を飾り、みんなで書いた短冊や、色とりどりの七夕飾りをつけて、「もうすぐ七夕だねー」と話しながら過ごし、当日を迎えました。

みんなでホールに集まり、ステージには彦星と織姫に変身した職員が立ち、たなばた会のスタート。ステージには、お子さんたちが事前に作成したたなばたのお人形の飾り付けがされ、雰囲気作りもバツチリです。

まずはみんなの大好きな、はたらくるまのペープサートをして、次に七夕についての紙芝居をしました。今年度最初の全体行事だったの

で、「みんな見てくれるかなあ?」「ド
キドキして泣いてしまうお子さんも
いるかなあ?」など、不安な気持ち
もありましたが、始まってみると、

お子さんたちは出し物をよく見てく
ださっていて、リラックスした表情や
楽しそうな表情で過ごしておられま
した。

柏學園
砂盛
惠理子

続いて、みんなで大きな紙にたくさん星を貼り付けていき、天の川を共同作成しました。製作も、お子さんたちはとても意欲的に取り組んでおられ、星いっぱい素敵な天の川ができました。

天の川をバックに写真撮影をしたあとは、彦星と織姫のダンスが始まりました。カラフルな傘をまわしながらのダンスを、みんなキラキラした目で見ておられ、中には一緒に歌を歌ってくれたり、一緒に踊ってくれるお子さんもうらっしゃいました。

お子さんたちが楽しそうに歌ったり踊ったりして、たなばた会を盛り上げて下さり、私たちもとても嬉しく、楽しく過ごことができました。

お子さんたちの様子を見ながら、このたなばた会が、お子さんたちにとって、よい時間になっていたなら嬉しいなあと思いました。

これから、お子さんたちが楽しめるような工夫や配慮をしながら、いろいろな行事を一緒に楽しんでいきたいと思っています。

柏の実苑では、平日は主に「作業」が各サークルで行われ、週末は「土曜日活動」として文化創作、クッキング、カラオケ、器楽、手話、スポーツが行われています。今後もアイデアを出し合って、利用者さんにとって安心安全で、より楽しい「土曜日活動」となるよう努めて参りたいと思います。

尾道での中部地区親善球技大会

瀬野 柏の実苑
山野
大

今年度の中部地区親善球技大会は、尾道の『こざかなくんスポーツパークびんご』で開催されました。昨年までは主に東広島運動公園で行われていましたが、体育館の改修工事で使用できないために会場を尾道に移しての開催となったのです。

私は長年中部地区親善行事の実行委員として大会の運営に携わらせていただいています。初めての場所ということもあり、打ち合わせの段階から現地で見学や設備の説明を受けて、いろいろな意見を出し合

い、安全に安心して、参加される皆さんに楽しんでいただけるように準備を進めていきました。

今回はグラウンドゴルフの係ということで、天候の様子も心配でしたが、当日は晴れて、各施設から参加される皆さんが遠方から集ってこられ、無事に開催することができました。

開会式も終わり、各会場へ移動後、各競技の開始です。

メインアリーナでフライングディスクとボッチャ、サブアリーナでは卓球、多目的グラウンドではグラウンドゴルフ、それぞれ個人戦や団体

戦で皆さん張り切ってプレイされて
いました。周りで見ている人々も
大きな声で声援したり、いいプレイ
にはみんなで喜んだりと笑顔もたく
さん見られ楽しまれているのがよく
わかります。

グラウンドゴルフでもあたりを見回していると、なかなか決めることができないプレーヤーに「がんばれ」「もうすこし」と声をかけるチームメイト、ホールインワンで「やったー」とチームで喜びあっているなど皆さん一生懸命に。

中には暑さのあまり、休憩される方もいらっしゃいましたが、すぐに看護師が対応してくださり、大きな事故もなく何とか競技を終えることができました。

グラウンドゴルフでは柏の実苑のチームが好成績で中国大会に進んだ方もいるようで、十月四日に開催されるとのことです。楽しんでいただければと思います。

また、十月九日には中部地区親善合同運動会が同じく『こざかなくんスポーツパークびんご』で開催予定ですので参加される皆さんお楽しみに。

サマーフェスタ二〇二五

盆踊りや夏祭りとして行つていた夏の行事をサマーフェスタと名前を変え、より利用者の方に楽しんでもらえる行事を、と試行錯誤を重ねて三年目。今年は二日間の日程で実施しました。

一日目は久しぶりに盆踊りを踊ることに。外は暑いので地域交流館のホールで、ミニやぐらを設置し、壁

には安芸柏の実苑通所部で制作された「サマーフェスタ二〇二五」の看板を飾り、天井からは利用者それぞれが紙コップにシールを貼ったり、絵を描いたりして作った風鈴が吊るされた中、行いました。久しぶりで

も長年踊り続けた方は曲が流れると自然に体が動くというように流麗な踊りを踊られていました。他の方も自分なりに踊って雰囲気を楽しまれていました。やっぱり盆踊りを踊るのもいいですね。踊りが終わると

ジュース、ポップコーン、かき氷のコーナーを出して飲食を楽しみました。ジュースはもちろんたくさん種類の中から好きな物を選べたのですが、かき氷は三種類、ポップコーンも三種類の味を用意し、その中から好きな味を選ぶことができました。

安芸柏の実苑 田中 優子

わりされる方もいました。一日目にはもう一つ、自治会でアイデアを出した「お菓子すくい・つかみ大会」もありました。箱の中に入ったお菓子をお箸やお玉、フライ返し、おもちゃのショベルカーなど色々な物を使ってゲットするゲームです。思い思いの道具を使ってたくさん取れるよう頑張っていました。

二日目は、利用者と職員の有志によるオーブンングアクトとクイズ、職員による手品を鑑賞、お楽しみ抽選会を行いました。今年はキッチンカー三台に来て頂き、さらにワッフルの販売もありました。チョコレートなどのスイーツやフライドポテト、焼きそば、アイスにジュースなど色々な物があり、どれにしようかと迷いながらも、「おいしそうだな」「食べたいな」「飲みたいな」と思う物を選んで飲食されました。普段なかなかできないキッチンカーでの買い物をしたり、出し物を見て楽しんだり、抽選に当たって喜んだりと皆さんニコニコ笑顔をたくさん見せてくれました。ご家族も参加され、一緒に楽しい一日を過ごすことができました。

今おもうこと

共に成長できる喜び

柏學園
川崎
彩乃

私が柏学園で働き始め、約八か月が経ちました。四月頃と比べると仕事に少しずつ慣れて、子どもたちとの関わり方もそれぞれのお子さんに合わせて、お話ししたり一緒に遊ぶことができてきたのではないかと思います。毎日過ごしている中で自分自身の様々な課題が見つかり、その課題をクリアすることができると少し成長したと感じます。子どもたちとは四月からの付き合いですが、去年でできなかったことなどができている様子を見ると、その成長を自分のことよりも嬉しく思い、感動します。今はまだ、わからないことや先輩職員のようにできないことばかりのため、今、自分にできることを精一杯行い、子どもたちの成長する場面にたくさん立ち会いたいです。また保護者の方々と一緒に子どもたちの成長を喜ぶことができて、とても嬉しいです。もう少ししたら寒くなつてきて、暑い時期とは異なる活動が増えるため、子どもたちの新しい成長がみられるのではないかと今から楽しみです。まだまだミスも多く学んでいかなければいけません、子どもたちと一緒に成長していけたらと思っています。これからも頑張ります。

言葉の温かさ

瀬野柏の実苑
清水 駿光

瀬野柏の実苑で仕事を始めて、あつという間に一年が経ちました。私は今まで、農業関係の勉強しかしておらず、福祉の知識がないまま入職したため、利用者の方や先輩方から学ばせて頂くことの多い一年間でした。

仕事を始めた頃は何かをしていいかわからないことばかりで仕事を覚えることに必死になっていました。しかし、利用者の方と日々のコミュニケーションを積み重ねていくうちに利用者の方と共に笑顔で楽しく過ごせる時間を沢山作りたと思うようになりました。そう思うようになったきっかけは、ある日退勤しようとした際に、利用者の方が「明日も来る?」「次はいつ出勤かね?」と聞きに來てくださったことでした。その言葉を聞いた時、利用者の方にとって、出勤するのを楽しみにしてもらえているのだと思うと、とても嬉しく、温かい気持ちになったのを強く覚えています。

これからも、この初心の思いを忘れることなく、利用者の方と笑顔で過ごせるように積極的にコミュニケーションを取っていききたいです。また、利用者の方々の意見を正しく受け取り、安心した生活、温かい空間を提供できるように勉強を続けていききたいと思っています。

行事

第三十二回ふれあい祭を十一月八日に開催します。

ステージ・ゲーム・作品展示・模
擬店など

十時開始・十二時三十分終了です。
是非お越しく下さい。

ご協力いただいた関係団体

広島安芸法人会瀬野川支部

支部長 水野 修治様

宗盛 幸江様

瀬野柏の実苑 法本継美さんが

「第三十六回広島市心身障害者福祉センター 書道・

写真コンテスト

において努力
賞を受賞しま
した。



編集後記

夏の強い日差しも少しずつ和らぎ
始めました。

今後も行事報告等、様々な記事を掲載していきたいと思っています。皆さまのご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。